※令和３年度以前入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生物基礎　新訂版」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

科学と私達の生活は密接な関わりをもっています。生物は科学の中でも私達ヒトをはじめとする生物全般について学ぶ教科です。細胞や DNA の性質等の分子生物学的な知識をみにつけるとともに、
私たちヒトの体の中でどのようなことが起こっているか、生物と環境がつくる生態系がどのようなものであるかについて学びます。また、身近な生物や、生物に関するニュース等を題材にして、生物学について幅広く学び、興味関心をもって欲しいと考えています。また、授業では、実験や実習を多く取り入れることで、実感をもって理解できるようにしています。

２　学習の到達目標

基礎的な知識をみにつけ、それらを活用することで科学的な現象について原理を説明できるようになる。また、実験や実習を通して科学的な思考力を養う

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	身の回りの自然、テレビや新聞で話題になる科学的なことがらに興味をもち、自分で調べようとすること。	自然現象について、その原理を自身がもつ知識を活用することで説明できること。また、実験等において、その結果を予想し、得られた結果について適切な考察ができること。	実験器具の扱い方や扱う上での注意事項を把握すること。実験の結果を正確に記録することができること。	授業で扱った自然現象の原理や概念を理解すること。また、それらの知識を日常で利用されている科学とつなげて考えることができること。
評価方法	・出席状況 ・授業態度 ・提出物	・授業態度 ・実習中の態度 ・問題プリント ・実験プリント	・実習中の態度 ・実験プリント ・定期考査	・問題プリント ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">前期</td><td rowspan="4">生物の特徴</td><td>細胞の基本構造</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="5">a：細胞の構造や酵素の性質、それらに関する研究を通して得られた知見、科学技術の利用について興味を持つこと。
b：細胞の働きに興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。
c：実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること
d：細胞や酵素に関する知見を科学的に把握していること</td><td rowspan="5">出席状況
授業態度
実習態度
実験プリント
問題プリント
提出物
定期考査</td></tr>
<tr><td>顕微鏡の使い方</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>代謝とエネルギー</td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>酵素のはたらき</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">遺伝子とその働き</td><td>DNA 構造</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a：DNA の構造や性質、その研究を通して得られた知見、科学技術の利用について興味を持つこと。
b：細胞分裂などの現象に興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。</td><td rowspan="2">出席状況
授業態度
実習態度
実験プリント
問題プリント</td></tr>
<tr><td>DNA とゲノム</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

※令和３年度以前入学生用

		細胞分裂と DNA			○	○	c : 実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d : DNA に関する知見を科学的に把握していること	提出物 定期考査
後期	体内環境の維持	体内環境の特徴	○	○		○	a : 生物が持つ恒常性やその研究を通して得られた知見、科学技術の利用について興味を持つこと。 b : 人体が病気を治す仕組みなどに興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを相手に伝えることができること。 c : 実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d : 恒常性に関する知見を科学的に把握していること	出席状況 授業態度 実習態度 実験プリント 問題プリント 提出物 定期考査
		自律神経系による調節	○	○		○		
		ホルモンによる調節	○			○		
		免疫のシステム	○	○		○		
	生物の多様性と生態系	生態系における植物の役割	○	○		○	a : 生物多様性やその研究を通して得られた知見、科学技術の利用について興味を持つこと。 b : 生態系がバランスを保つ仕組みに興味と疑問を抱き、その原理等を自ら調べる。また、それについて分かったことや自分の考えを	出席状況 授業態度 実習態度 実験プリント

※令和３年度以前入学生用

		生態系とその保全	○	○	○	○	相手に伝えることができること。 c：実験方法や観察方法、記録方法を身につけること。また、実験を進める上で必要となるコミュニケーションを適切にとること d：生物多様性や生態系に関する知見を科学的に把握していること	問題プリント 提出物 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。